

報道関係各位

2014年3月5日  
アートアワードトーキョー 丸の内2014実行委員会

審査員の顔ぶれも新たに、丸の内から世界へ向けて発信するアート展  
**「アートアワードトーキョー 丸の内2014」開催**

ゲスト審査員に放送作家やミュージシャンとして活躍している倉本美津留氏を迎え  
美大・芸大の卒業・修了制作約30作品を一堂に展示

**4月26日(土)～5月25日(日)**

「アートアワードトーキョー 丸の内2014」実行委員会は、4月26日(土)から5月25日(日)の期間、丸ビル・新丸ビルに隣接するパブリック・スペース、行幸地下ギャラリーにおいて「アートアワードトーキョー 丸の内2014」を開催します。

今年で8回目を迎える「アートアワードトーキョー 丸の内」(以下a.a.t.m.)は、若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術の展覧会です。全国の主要な美術大学・芸術大学・大学院の卒業制作の中から選抜した、才能豊かな約30作品を行幸地下ギャラリーに展示。初日の4月26日(土)には、審査員による公開審査を実施し、グランプリ、審査員賞など全13賞(オーディエンス賞のみ後日発表)を決定します。

展示場所の行幸地下ギャラリーは、東京駅に直結し、丸ビルと新丸ビルの間に位置する全長220mのパブリック・スペースです。丸の内ワーカーやショッピングに訪れる人々が、1日に約1万人も往来し、気軽にアート鑑賞を楽しめるこのスペースで、アートとの新しい出会いの場を創り出し、若いアーティストの可能性を大きく広げていきます。

過去7回のa.a.t.m.で紹介したアーティストの数は275名に及び、本展から羽ばたいたアーティストたちは現在では日本国内のみならず国外でも活躍しています。第8回目となる今年は、放送作家やミュージシャンなど幅広い分野で活躍している倉本美津留氏をゲスト審査員に起用。アーティストやキュレーターとは異なる視点を取り入れることで、今までにないアワードを目指します。次代を担うアーティストたちの清々しく鋭敏な感性が一堂に会する丸の内へ、ぜひお越しください。



「アートアワードトーキョー 丸の内2013」会場風景  
(行幸地下ギャラリー)



「アートアワードトーキョー 丸の内2013」グランプリ  
作品名:私の頭蓋／あの子の名前／月の裏側  
謝花 翔陽(東京藝術大学)

## 「アートアワードトーキョー 丸の内2014」開催概要

開催日程：4月26日(土)～5月25日(日) 会期中無休  
開催場所：行幸地下ギャラリー 東京都千代田区丸の内2-4-1(行幸通り地下)  
入 場：無料  
主 催：アートアワードトーキョー 丸の内2014実行委員会  
特別協賛：三菱地所株式会社  
協 賛：shu uemura  
後 援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ東京  
協 力：アッシュ・ペー・フランス株式会社  
お問合せ：アートアワードトーキョー 丸の内2014実行委員会事務局  
URL: <http://www.artawardtokyo.jp> / Mail: [info2014@artawardtokyo.jp](mailto:info2014@artawardtokyo.jp)

### 【公開最終審査会】

開催日時：4月26日(土) 10:30～ ※審査員が会場で作品審査を行います。(一般見学可)  
開催場所：行幸地下ギャラリー

内容・見所

#### 1) 現代アートの若い才能を発見できるショーケース

国内の美術大学・芸術大学の卒業制作の中から、アート界を牽引する7人の審査員による一次審査を通過した約30作品が一堂に介します。

#### 2) 公開審査会の模様を一般公開

初日の4月26日(土)に行われる最終審査会は、行幸地下ギャラリーに展示された作品を審査員全員がひとつひとつ見て回り、アーティストに鋭い質問を投げかけていくスリリングな現場です。アーティストと審査員の真剣なやりとりを一般の方もご覧いただけます。

#### 3) 今年のゲスト審査員は放送作家・ミュージシャンの倉本美津留氏

放送作家・ミュージシャン・作詞家・脚本家・演出家と様々な肩書きを持ち、日本カルチャーを牽引する倉本美津留氏をゲスト審査員にお招きします。アーティストやキュレーターとはまた違う新しい視点から審査いただきます。



### 【審査の流れ】

一次審査：3月17日(月) ※非公開

美大・芸大の卒業・修了制作展をリサーチし、選定した第一次審査対象作品の中から、審査会により展示される約30作品を決定。



公開最終審査：4月26日(土)

行幸地下ギャラリーに展示された作品をもとに公開審査を行い、各アワードの受賞者を決定。



展示一般公開：4月26日(土)～5月25日(日)

オーディエンス賞の投票：4月26日(土)～5月11日(日)

行幸地下ギャラリー a.a.t.m. インフォメーションカウンター(東京駅連絡口)にて投票。

## 【アワード各賞】

グランプリ	1名	賞金30万円
審査員賞	7名	賞金5万円
三菱地所賞	1名	東京・丸の内にて作品展示をすることができます。
シュウ ウエムラ賞	1名	シュウ ウエムラは、創業者植村秀の哲学を引き継ぎ、美とアートの融合を追求し続ける化粧品ブランドです。才能溢れる若手アーティストの育成に貢献していきたいと考え、第3回よりシュウ ウエムラ賞を設立しました。受賞者にはシュウ ウエムラのオフィシャル・ウェブサイトをはじめ、広報活動を通じて発表されます。
アッシュ・ペー・フランス賞	1名	アッシュ・ペー・フランスが運営するH.P.FRANCE WINDOW GALLERY (丸ビル1階)にて個展を開催することができます。
フランス大使館賞	1名	アンスティチュ・フランセ東京(新宿区市谷船河原町15)エントランス・ホールにて個展を開催することができます。
オーディエンス賞	1名	観客の投票で決定します。※投票期間:4月26日(土)~5月11日(日)

### 審査員からのメッセージ ※50音順

#### ■今村 有策(トーキョーワンダーサイト 館長)

次世代がのびのびと表現でき、それを支えることがどんなに素晴らしく、大切なことか。その空気が社会を、街を、生き活きとさせる。アートそして文化は社会のおまけではなく、その礎なのだから。

#### ■神谷 幸江(広島市現代美術館 チーフキュレーター)

美術についての関心を共有する環境から離れ、街の中で、街行く人々に対し、表現を通じて伝える強度と緊急性を持ちうるか。不透明な力が私たちの想像力／創造力を押しつぶそうとし始めているこの時代に、若きアーティストたちの果敢な挑戦を期待しています。

#### ■後藤 繁雄(編集者、クリエイティブディレクター、京都造形芸術大学 教授)

アートの未来を切り拓く作品が、いつどこから現れるかは、誰もわからない。「可能性」という言葉は、ますますこれからの人間の社会にとり、最大重要だが、アートはそれに満ちていると思う。しかし、その才能を発掘・育成できなければ、未来もない。a.a.t.m.の過去7年の活動を振り返ると、次代をひっぱり若手アーティストを最も確に選出できてきたことに誇りすら感じる。今年も改めて、新しい才能との出会いに、力をつくしたいと考えている。

#### ■小山 登美夫(小山登美夫ギャラリー代表、明治大学国際日本学部 特任准教授)

是非、今年も新しい視点で世界をみさせてくれるアーティストがいることを期待します。未来につながるそのちょっとしたかけらでも、見落とさないよう私たち審査員も努力します。アートは世界を変える力を持っている、と信じて続けていってください。

#### ■高橋 明也(三菱一号館美術館館長)

このユニークな美術審査会は、すでに丸の内の春を彩る大イベントとなった感さえある。若い作家たちの身を切るようなピリピリとした感受性が、どの作品からも発散する。この「旬な」催しならではの醍醐味だ。

#### ■建畠 哲(京都市立芸術大学学長、埼玉県立近代美術館館長)

オフィス街の丸の内にも、最近、アートゾーンとしての性格が加わってきた。まさにその街なかを会場にして開催される本アワードは、年々、新人の登竜門としての注目を浴びようになってきているが、今年もアートで都市の話題を沸騰させるような斬新な挑戦が見られることを期待したい。



### <ゲスト審査員>

#### ■倉本 美津留(放送作家、ミュージシャン)

アートこそが人類の未来を、自由を、幸福を切り拓いていくものだと思っています。これまで地球上に存在しなかった不思議を生み出しているか？未来に選択肢を増やすような作品に期待します。

プロフィール:放送作家として、「ダウンタウン DX」、E テレのこども番組「シャキーン！」などを手がける。これまでの仕事に「ダウンタウンのごっつええ感じ」「M-1 グランプリ」「伊東家の食卓」「たけしの万物創世記」他。またミュージシャンとしても活動。近著にことば絵本「明日のカルタ」。

## 【a.a.t.m.過去参加アーティストの主な活動状況(一例)】

a.a.t.m. 参加年	アーティスト名	出身大学(出展時)	近年の活動(2013年～)と予定
2013	謝花翔陽 (グランプリ)	東京藝術大学	2013 個展「アメジスト/月に向かって吠え立てる犬/そして僕は橋を焼く」/Bambinart Gallery(東京)
	高島依子 (後藤繁雄賞)	東京藝術大学	2014.1.22 - 2.24「KISS THE HEART#3」/日本橋三越(東京) 2014.10「project N 58」/東京オペラシティアートギャラリー
	中村奈緒子 (小山登美夫賞)	東京藝術大学	2014.1.11 - 2.8 個展「ネイチャー」/児玉画廊(京都)
	大平由香理	東北芸術工科大学	2013「神戸ビエンナーレ ペインティングアートコンペティション」奨励賞(兵庫)
	平川恒太	東京藝術大学	2014.3.15-3.30「VOCA 展2014-新しい平面の作家たち」佳作/上野の森美術館(東京) 2013「損保ジャパン美術賞展 FACE2013」/損保ジャパン東郷青児美術館(東京)
	野原万里絵 (フランス大使館賞・オーディエンス賞)	京都市立芸術大学	2013「ART IN THE OFFICE 2013」/マネックス証券プレスルーム(東京)
	下野薫子	武蔵野美術大学	2013「第8回グラフィック「1_WALL」」グランプリ/ガーディアン・ガーデン(東京)
2012	片山真理 (グランプリ)	東京藝術大学	2013「あいちトリエンナーレ2013」/愛知県内各所(愛知)
	柳井信乃 (植松由佳賞)	東京藝術大学	2013「夢か、現か、幻か」/国立国際美術館(大阪) 2013「すばらしい新世界——再魔術化するユートピア」/青森県立美術館(青森)
	吉田晋之介 (長谷川祐子賞)	東京藝術大学	2013「VOCA 展2013-新しい平面の作家たち」佳作/上野の森美術館(東京) 2013「神戸ビエンナーレ ペインティングアートコンペティション」奨励賞 神戸各所(兵庫)
	金光男 (フランス大使館賞・木幡和枝賞)	京都市立芸術大学	2014.3.15-3.30「VOCA 展2014-新しい平面の作家たち」奨励賞/上野の森美術館(東京) 2013「TRICK DIMENSION B」/TOKYO FRONT LINE/ TOLOT(東京)
2011	小山真徳 (グランプリ)	東京藝術大学	2014.2.8-4.6「第17回岡本太郎現代芸術賞展 TARO賞」入選/川崎市岡本太郎美術館(神奈川)
	桑田朋以 (オーディエンス賞)	東京藝術大学	2013「第8回新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館」/池袋(東京)
	笹川治子	東京藝術大学	2013「The shiny future exhibition 2013 The HUMANISATION」東京都美術館(東京)
	村林由貴	京都造形芸術大学	2011-2013「退蔵院襖絵プロジェクト」退蔵院/京都
2010	佐藤翠 (小山登美夫賞)	東京造形大学	2013「東京画Ⅱ」/東京都美術館(東京) 2013「Ohara Contemporary」/大原美術館(岡山)
	小浪次郎 (シュウ ウエムラ賞)	東京工芸大学	2013「板尾創路著作『板尾日記8』」撮影
	三波千恵	愛知県立芸術大学	2013 個展「トーキョーワンダーウォール都庁2013」/東京都庁(東京)
	遠藤夏香	武蔵野美術大学	2013「こども + おとな + 夏的美術館 アートといっしょ」/群馬県立近代美術館(群馬)
	八幡亜樹	東京藝術大学	2014.2.15-3.22 個展「楽園創造(パラダイス)——芸術と日常の新天地—— vol.7」/αM(東京)
2009	wah document (グランプリ)	東京藝術大学	2013「瀬戸内国際芸術祭2013」/小豆島(香川) (荒神明香と新ユニット「目」として)
	宮永亮	京都市立芸術大学	2014.2.15-5.11「MOTアニュアル2014」東京都現代美術館(東京) 2013「なつやすみの美術館3「美術の時間」」/和歌山県立近代美術館(和歌山)
2008	大田黒衣美 (グランプリ)	東京藝術大学	2014.1.18-3.30 個展「project N 55」/東京オペラシティアートギャラリー(東京)
	風能奈々 (小山登美夫賞)	京都市立芸術大学	2014.1.10-2.16 個展「あの魚が光って見えるのは はがれかけた鱗がゆれるから」/小山登美夫 ギャラリー(シンガポール)
	松井えり菜	多摩美術大学	2013 個展「Road Sweet Road」/クンストラーハウスベタニエン(ドイツ)
	水田寛	京都市立芸術大学	2013「日本の絵画の50年」/和歌山県立近代美術館(和歌山) 2013「大和コレクションVI-世界の手がかり」/沖縄県立美術館(沖縄)
	下出和美	金沢美術工芸大学	2013「第1回損保ジャパン美術賞展 FACE2013」入賞/損保ジャパン東郷青児美術館(東京)
2007	荒神明香 (グランプリ)	東京藝術大学	2013「瀬戸内国際芸術祭2013」/犬島『家プロジェクト』/犬島(岡山)
	小牟田悠介	京都造形芸術大学	2013 個展「Color Unfolds」/SCAI THE BATHHOUSE(東京)
	大庭大介	東京藝術大学	2013「The Island of the Day Before」/国立台北芸術大学 開渡美術館(台湾)
	薄久保香	東京藝術大学	2013「ミニマル   ポストミニマル —1970年代以降の絵画と彫刻—」/宇都宮美術館(栃木)
	小西紀行	武蔵野美術大学	2013「高橋コレクション—マインドフルネス!」霧島アートの森(鹿児島)/札幌芸術の森美術館(北海道)

## 【a.a.t.m.受賞者からのメッセージ】

### ■目：荒神明香(2007年グランプリ受賞) & 南川憲二(2009年グランプリ受賞)



©目

a.a.t.m.は、卒業制作にとって大事なモチベーションを生んでくれていると思います。自分たちも学生の頃、a.a.t.m.の話を聞いたとき、「やるぞ！」という気持ちが沸きたちました。ですが、声をかけられるのをまっているのでは全然面白くないと思います。本当の目的は、作品が展示された空間を通りかかった人々の心に、何かをうみだすことです。アートにはその力があります。これはみなさんに自由に与えられた条件であり醍醐味だと思います。「今年のa.a.t.m.のあの作品見た？」と、つい噂してしまうような、ものすごい作品に出会いたいです。新しいことを始めたり、本当に興味あることに目を向けることは、とても勇気のいることだと思いますが、ぜひ恐れずに突き進んでほしいと思います。

### ■金光男(2012年フランス大使館賞・木幡和枝賞受賞)



右：《row - kanaami to suponji》(2014) ©Mitsuo KIM

a.a.t.m.は僕にとって色々制作を続けていく為の良いきっかけになりました。同年代の作家達の仕事を見る事や意見の交換は勉強になりましたし、審査員の木幡和枝さんが僕に言った「あんた、なにも解っていないね。」は響きました。審査結果等で一喜一憂すると思いますが、あまり気にせずあの特殊な空間と時間を満喫してください。

## 【2014年度 三菱地所からのメッセージ】

三菱地所は丸の内において、経済・社会・環境・文化のバランスのとれた「世界で最もインタラクション(交流)が活発な街」をめざし、特に文化面においては2010年にオープンした「三菱一号館美術館」や「アートアワードトーキョー 丸の内」をはじめとするアート・音楽系の催し等により街づくりを推進しております。2012年より『a.a.t.m.三菱地所賞』を創設し、受賞者の作品を丸の内エリアのオフィスビル内や商業施設内に展示する機会を設けております。私達は、今後も丸の内から若いアーティストの皆さんが世界へ羽ばたいていくチャンスをご提供し続けていきたいと考えております。

### ＜この件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞

三菱地所ビルマネジメント株式会社 丸の内PR事務局 (平日9:30~18:00)

TEL:03-4323-0100 / FAX:03-3265-5135

E-mail: marunouchi@ozma.co.jp

### ＜この件に関する一般の方のお問い合わせ先＞

丸の内コールセンター TEL:03-5218-5100 (11:00~21:00)

※但し、日曜・祝日は20:00まで(連休の場合は最終日のみ20:00まで)